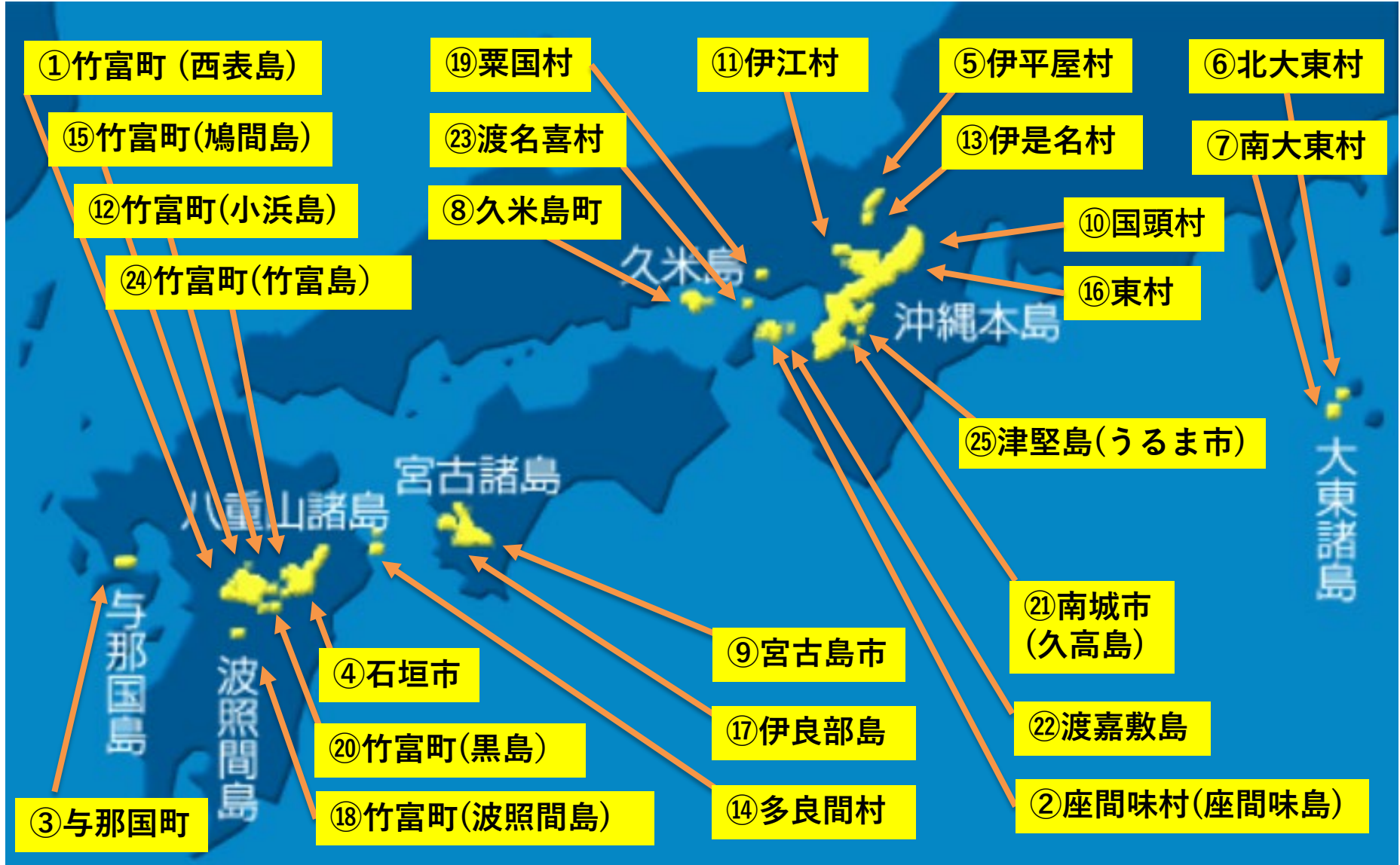


普及啓発活動をパッケージで行った 離島・へき地市町村



【がん情報提供講演会 開催一覧】

年度		離島訪問一覧	開催日時	備考
2015年度 (H27年度)	①	西表島(竹富町)	H28.3.18	がん療養場所ガイドブック活用説明会
	②	座間味島(座間味村)	H28.3.22	がん療養場所ガイドブック活用説明会
2016年度 (H28年度)	③	与那国島(与那国町)	H28.7.15	がん療養場所ガイドブック活用説明会 in 与那国島
	④-1	久米島(久米島町)	H28.9.16	もしも島でがんになったら
	⑤	伊平屋島(伊平屋村)	H28.9.30	もしも島でがんになったら
	⑥	北大東島(北大東村)	H28.12.9	もしも島でがんになったら
	⑦	南大東島(南大東村)	H28.12.10	もしも島でがんになったら
	⑧-1	石垣島(石垣市)	H29.1.21	もしも島でがんになったら 図書館でまるごと一日「がん」のこと
2017年度 (H29年度)	⑨-1	宮古島(宮古島市)	H29.9.9	がん専門医に学ぶ 医師とのコミュニケーション
		那覇市	H29.11.19	がんで後悔しないためのヘルスリテラシーってなんだ？
	⑨-2	宮古島(宮古島市)	H30.1.13	もしも宮古島でがんになったら
2018年度 (H30年度)	⑩	国頭村	H30.7.27	もしも国頭村でがんになったら
	⑪	伊江村	H30.9.13	もしも伊江島でがんになったら
	⑫	小浜島(竹富町)	H30.10.5	もしも小浜島でがんになったら
	⑧-2	石垣市	H30.10.6	がん相談できる島づくりがんピアキャラバン
	⑬	伊是名村	H30.11.2	もしも伊是名村でがんになったら
	⑭	多良間村	H30.11.30	もしも多良間村でがんになったら
	⑮	鳩間島(竹富町)	H31.2.22	もしも鳩間島でがんになったら
2019年度 (R1年度)	⑯	東村	R1.5.17	もしも東村でがんになったら
	⑰	伊良部島(宮古島市)	R1.6.7	もしも伊良部島でがんになったら
	⑱	波照間島(竹富町)	R1.7.12	もしも波照間島でがんになったら
	⑲	粟国村	R1.9.26	もしも粟国村でがんになったら
	⑳	黒島(竹富町)	R1.10.17	もしも黒島でがんになったら
	㉑	久高島(南城市)	R2.2.20	もしも久高島でがんになったら
2020年度 (R2年度)	㉒	渡嘉敷村	R2.9.24	もしも渡嘉敷島でがんになったら
	㉓	渡名喜村	R2.11.10	もしも渡名喜島でがんになったら
	㉔	竹富島(竹富町)	R2.11.26	もしも竹富島でがんになったら
2021年度(R3)	㉕	津堅島(うるま市)	R3.11.5	もしも津堅島でがんになったら

地域の療養情報

おきなわ がんサポート ハンドブック



沖縄県のがん患者さんとそのご家族に向けて、がんに関する正確な情報をわかりやすくお伝えするガイドブックです。**納得して治療を受けていただくために治療開始前に知っておきたい情報**や、相談窓口、県内の医療体制、地域の支えあいの場など、**がん**と向き合う方々をサポートする一冊です。

治療と療養の過程（ライフコース）を図で示すことにより、がん治療の流れを理解しやすく説明しています。



がんと言われたとき、すぐに役立つヒント&リスト 巻頭綴り込み内容

- 病名と病期を知る
- がん相談支援センターを利用する
- 担当医と話す
- セカンドオピニオンを活用する
- 痛みやつらさを和らげる
- すぐに仕事を辞めない
- 情報を集める
- 治療費の負担を減らす
- 妊娠の可能性を知る
- 大事にしたいことを考える

おきなわがんサポートハンドブックは**無料**で配布しています。このポスターのある公共施設や、がん診療を行う病院、診療所、がん相談支援センターなどに置いてあります。ぜひお手に取ってご覧ください。

「面談にのぞむときの質問集」「わたしのメモ」付き

お問い合わせ

琉球大学病院がんセンター 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207

TEL.098-895-1531 FAX.098-895-1497

E-mail : mail@ryukyucc.jp
URL : https://www.okican.jp

患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」

ホーム > 患者さん・ご家族・県民の方へ > 患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」

患者必携とは？

がんと診断されて間もない患者さんの思いに寄り添い、支える事の助けとなることを目指して、「信頼できる情報で、わかりやすく、役にたつもの」をまとめたものです。

1. 自分らしい病気との向き合い方を教えていくために読む「がんになったら手にとるガイド」
2. 治療や療養生活について、聞いたり調べたりして理解したことを書き留めて整理する「わたしの療養手帳」
3. お住まいの地域の相談窓口などの情報をまとめた「地域の療養情報」

患者必携の主な対象は、がんと診断が伝えられた直後（比較的最近）の患者さんです。

患者必携3点セット

各冊子の概要については[こちら](#) PDF

1. がんになったら手にとるガイド



(普及新版)

「がんになったら手にとるガイド」PDFはこちらからご確認いただけます。
(PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください)

詳しくはこちら→ [国立がん研究センター がん情報サービス ホームページ](#)

2. わたしの療養手帳



(普及新版)

「わたしの療養手帳」PDFはこちらからご確認いただけます。
(PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください)

詳しくはこちら→ [国立がん研究センター がん情報サービス ホームページ](#)

3. 地域の療養情報 「おきなわがんサポートハンドブック」

2020年版よりおきなわがんサポートハンドブックのウェブサイトを開発しています。
画像をクリック下さい。

【ウェブサイト版】



案内サイトもリンクしています。

PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください。



【PDF版】

過去の版もみれます。



地域の療養情報 沖縄県(試作版)



PDFをご覧になりたい方は画像をクリックしてください

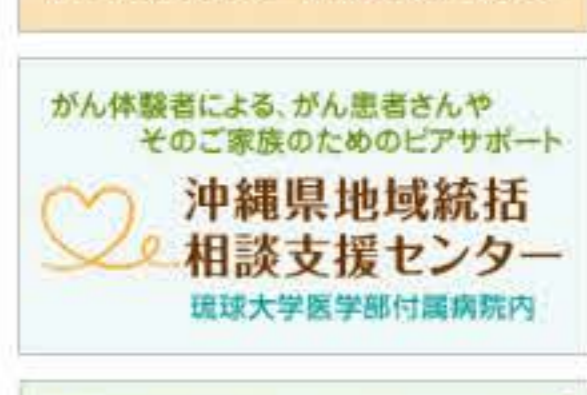
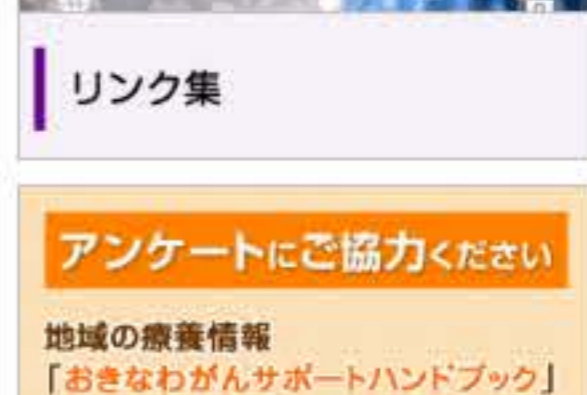
患者必携の役割

1. がんの治療経過がわかる
2. 大まかに自分のがんの状況と今後の見通しの参考になる
3. 医療者、介護や支援などの初期の理解の手助けになる
4. 療養や今後の生活に関して調べる、知るべきことを認識する助けになる
5. 患者・家族と医療者、支援者が共に同じ冊子体を使って情報共有、情報交換することによって、患者さんにとって役立つ情報が蓄積され、行動に結びつけられる。

- おきなわがんサポートハンドブック (2022年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2021年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2020年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2019年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2018年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2017年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2016年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2015年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2014年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2013年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2012年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2011年版)

- 患者さん・ご家族・県民の方へ
- イベント情報
- タウンミーティング
- がん治療について
- がん患者会
- 患者サロン
- 沖縄県地域統括相談支援センター
- 医療機関の情報について
- がん情報ブースのご紹介
- おきなわがん診療ネット みるん・しるん
- がん相談窓口
- がん患者さんがお子様をもつことを応援する医療「妊孕性温存療法」と「がん治療後の生殖医療について」
- 患者サロン
- セカンドオピニオンについて
- グループ指定について
- 患者サロン
- 希少がん患者さん及び医療者へ
- 患者サロン
- 患者サロン

- 患者必携・地域の療養情報「おきなわがんサポートハンドブック」
- おきなわがんサポートハンドブック (2022年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2021年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2020年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2019年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2018年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2017年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2016年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2015年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2014年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2013年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2012年版)
- おきなわがんサポートハンドブック (2011年版)



おきなわがんサポートハンドブック2022年版 配布リスト

	医療機関名	箇所数	1箇所あたり 配布数	配布数	備考
A	琉球大学病院	1		6,532	各病院の不足分は琉大より配布
B	沖縄県立中部病院	1		1,300	
C	那覇市立病院	1		1,300	
①	地域がん診療病院	3	別紙内訳	700	
②	がん診療を行う医療施設 掲載	17	別紙内訳	6,230	
②	がん診療を行う医療施設 掲載なし	7	別紙内訳	400	2021年版掲載(要件充足)
③	がん診療を行う医療施設 (ホスピス)	4	別紙内訳	400	
④	がん登録指定診療所 ※	79	別紙内訳	158	県R4.1がん登録指定診療所
⑤	離島へき地診療所	24	20	480	別紙内訳
⑥	配布希望医療機関 他 ※	14	別紙内訳	310	
計		151		17,810	

	施設名	箇所数	1箇所あたり 配布数	配布数	備考
1	患者会・患者支援団体 ※	14	別紙内訳	370	
2	患者連合会	1	50	50	
3	市町村	41	別紙内訳	2,150	
4	保健所	6	別紙内訳	300	別紙内訳
5	沖縄県医師会・地区医師会	8	10	80	別紙内訳
6	沖縄県看護協会	1	50	50	
7	沖縄県歯科医師会	1	10	10	
8	沖縄県薬剤師会	1	10	10	
9	沖縄労働局	1	30	30	
10	那覇公共職業安定所	1	100	100	
11	グッジョブセンターおきなわ	1	100	100	相談が増え配布希望
12	グッジョブセンターおきなわ 中部サテライト	1	50	50	
13	福祉事務所	6	20	120	別紙内訳
14	沖縄県産業保健総合支援センター	1	300	300	
15	沖縄県立図書館	1	450	450	県内各図書館への配布分含む
16	沖縄県立森川特別支援学校	1	20	20	
17	沖縄県保健医療部 健康長寿課	1	3000	3,000	県分2400、郵便局分(3)600
計		87		7,190	

発送先合計

238

合計

25,000

※ 赤字は印刷業者より直接納品、それ以外は宅配業者にて納品

145

※ 青地 ④がん登録指定診療所⑥希望医療機関はがんセンターより発送

93

	① 地域がん診療病院 (3施設)	配布数
1	北部地区医師会病院	200
2	沖縄県立宮古病院	250
3	沖縄県立八重山病院	250
合計		700

	②-1 がん診療を行う医療施設 掲載 (17施設)	配布数
1	沖縄県立北部病院	200
2	たいら内科クリニック	30
3	KIN放射線治療・健診クリニック	50
4	中頭病院	700
5	中部徳洲会病院	300
6	ハートライフ病院	400
7	国立病院機構 沖縄病院	200
8	浦添総合病院	1,000
9	宮良クリニック	400
10	マンマ家クリニック	100
11	沖縄赤十字病院	400
12	沖縄協同病院	350
13	那覇西クリニック	500
14	那覇西クリニックまかび	200
15	与那原中央病院	100
16	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	600
17	友愛医療センター	700
合計		6,230

	②-2 がん診療を行う医療施設 掲載無し (7施設)	配布数
18	同仁病院	50
19	おもろまちメディカルセンター	50
20	大浜第一病院	50
21	沖縄第一病院	50
22	南部徳洲会病院	100
23	宮古島徳洲会病院	50
24	石垣島徳洲会病院	50
合計		400

	③ がん診療を行う医療機関 ホスピス (4施設)	配布数
1	与勝病院	100
2	アドベンチストメディカルセンター	100
3	オリブ山病院	50
4	豊見城中央病院	150
合計		400

④ がん登録指定診療所		配布数	④ がん登録指定診療所		配布数
1	いちよう内科あしとみ	2	45	おやかわクリニック	2
2	又吉内科クリニック	2	46	医療法人 きんクリニック	2
3	医療法人優慎会 しみず胃腸内科 2 1	2	47	医療法人たぶの木 うむやすみやあす・ん診療所	2
4	医療法人さくら会 アワセ第一医院	2	48	末吉内科外科胃腸科医院	2
5	まちだクリニック	2	49	医療法人和み会 城間医院	2
6	石川産婦人科	2	50	Joy レディースクリニックくもじ	2
7	医療法人 島袋内科・胃腸科	2	51	古堅ウィメンズクリニック	2
8	新川クリニック	2	52	医療法人ももの会 仲地レディースクリニック	2
9	医療法人形成会 当山美容形成外科	2	53	前田胃腸科医院	2
10	ヒルズガーデンクリニック	2	54	くばがわメディカルクリニック	2
11	医療法人芙蓉会 高里内科胃腸科	2	55	がきやクリニック	2
12	高橋クリニック	2	56	医療法人 新田クリニック	2
13	いわした内科クリニック	2	57	ゆいクリニック	2
14	医療法人八重会 たまきクリニック	2	58	なかむら内科おなかクリニック	2
15	きなクリニック	2	59	医療法人信山会 南城つはこクリニック	2
16	医療法人幸正会 マンマ家クリニック (別紙記載)	0	60	たいら内科クリニック (別紙記載)	0
17	曙クリニック	2	61	KIN放射線治療・検診クリニック (別紙記載)	0
18	医療法人玉福 空と海とクリニック	2	62	医療法人絨誠会 名護記念クリニック 閉院	0
19	医療法人愛和会 愛和ファミリークリニック	2	63	いらはクリニック※例年部数希望 (別途配布)	0
20	たから産婦人科	2	64	医療法人太陽会 かりまた内科医院	2
21	みやぎ内科	2	65	海風クリニック	2
22	なごみ泌尿器科クリニック	2	66	浦添セレブクリニック胃腸科・内科	2
23	中村内科胃腸科	2	67	医療法人瑞愛翔 みのり内科クリニック	2
24	医療法人 下地診療所	2	68	兼島医院	2
25	眞生会 池村内科医院	2	69	医療法人康陽会 仲宗根クリニック	2
26	今帰仁診療所	2	70	なかよし内科クリニック	2
27	おおうらクリニック	2	71	医療法人一麦会 伊禮医院	2
28	宮良クリニック (別紙記載)	0	72	那覇内視鏡クリニック	2
29	社会医療法人敬愛会 ちばなクリニック	2	73	医療法人となん会 桃山クリニック	2
30	にいむら内科胃腸科クリニック	2	74	光クリニック	2
31	医療法人安心会 愛聖クリニック	2	75	医療法人友英会 友寄クリニック	2
32	医療法人 神谷医院	2	76	医療法人奈々和会 赤嶺レディースクリニック	2
33	はざま胃腸内科クリニック	2	77	医療法人 おおはらクリニック	2
34	医療法人白水会 明陽クリニック	2	78	医療法人アカシア会 比嘉内科胃腸科医院	2
35	医療法人一宜会 大北内科胃腸科クリニック	2	79	かいせいクリニック	2
36	一般財団法人沖縄県健康づくり財団附属診療所	2	80	みんなのクリニック	2
37	那覇西クリニック (別紙記載)	0	81	下地脳神経外科	2
38	那覇西クリニックまかび (別紙記載)	0	82	前田胃腸科医院	2
39	首里協同クリニック	2	83	空の森クリニック	2
40	宮良内科胃腸科医院	2	84	あかし内科クリニック	2
41	平田胃腸科・内科	2	85	サンパーク胃腸内科クリニック	2
42	仲地胃腸内科クリニック	2	86	嘉数医院	2
43	医療法人垂十夢会 茶園耳鼻科	2	87	おおよま泌尿器科クリニック	2
44	医療法人陽心会 メディカルプラザ大道中央	2			

	⑤ 離島へき地診療所	配布数
1	国頭村立診療所	20
2	国頭村立東部へき地診療所	20
3	大宜味村立診療所	20
4	東村立診療所	20
5	伊江村立診療所	20
6	沖縄県立北部病院附属 伊是名村診療所	20
7	沖縄県立北部病院附属 伊平屋診療所	20
8	沖縄県立中部病院附属 津堅診療所	20
9	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 久高診療所	20
10	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 粟国診療所	20
11	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡名喜診療所	20
12	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 北大東診療所	20
13	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 南大東診療所	20
14	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 座間味診療所	20
15	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 阿嘉診療所	20
16	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡嘉敷診療所	20
17	沖縄県立宮古病院附属 多良間診療所	20
18	沖縄県立八重山病院附属 小浜診療所	20
19	沖縄県立八重山病院附属 波照間診療所	20
20	沖縄県立八重山病院附属 大原診療所	20
21	沖縄県立八重山病院附属 西表西部診療所	20
22	与那国町診療所	20
23	竹富町立竹富診療所	20
24	竹富町立黒島診療所	20
	合計	480

	⑥ その他のがん診療を行う医療機関（配布希望）	配布数
1	公立久米島病院	50
2	琉生病院	20
3	沖縄セントラル病院	20
4	小禄病院	20
5	西崎病院	20
6	いらはクリニック	10
7	ぐしけん眼科	30
8	統合医療センタークリニックぎのわん 医事課	20
9	徳山クリニック 診療支援課	20
10	宜野湾整形外科医院	20
11	中村内科クリニック	20
12	屋宜原病院	10
13	かりゆし病院	30
14	仲本病院	20
合計		310

	1 患者会・患者支援団体	配布数
1	がんの子どもを守る会 沖縄支部	30
2	胃がん友の会（胃無胃会）	30
3	日本喉摘出者連合会九州支部 沖縄県 友声会	30
4	中部ゆんたく会	30
5	沖縄県婦人科がん患者会 美ら清ら café	30
6	日本オストミー協会 沖縄県支部	30
7	まんま宮古	30
8	NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさあ	30
9	パンキャンキャン沖縄支部（膵臓がん患者会）	20
10	多発性骨髄腫おきなわ患者の会	10
11	やいまゆんたく会	30
12	グループ・ネクサス・ジャパン沖縄支部	10
13	ゆうかぎの会	30
14	サバイバーナースの会「びあナース」	30
	計	370

	2 患者連合会	配布数
1	沖縄県がん患者会連合会	50
	計	50

3 市町村配布内訳

※ 市：100部、町・読谷村：50部、村：25部

	地域	市町村名	部数	備考
1	北部	名護市	100	
2		国頭村	25	
3		大宜味村	25	
4		東村	25	
5		今帰仁村	25	
6		本部町	50	
7		伊江村	25	
8		伊平屋村	25	
9		伊是名村	25	
10	中部	宜野湾市	100	
11		沖縄市	100	
12		うるま市	100	
13		読谷村	50	
14		嘉手納町	50	
15		北谷町	50	
16		北中城村	25	
17		中城村	25	
18		恩納村	25	
19		宜野座村	25	
20		金武町	50	
21	南部	那覇市	100	那覇保健所へも50部送付
22		浦添市	100	
23		糸満市	100	
24		豊見城市	100	
25		南城市	100	
26		西原町	50	
27		与那原町	50	
28		南風原町	50	
29		渡嘉敷村	25	
30		座間味村	25	
31		栗国村	25	
32		渡名喜村	25	
33		南大東村	25	
34		北大東村	25	
35		久米島町	50	
36		八重瀬町	50	
37	宮古	宮古島市	100	
38		多良間村	25	
39	八重山	石垣市	100	
40		竹富町	50	
41		与那国町	50	
		計	2150	市町村配布総数

	4 保健所	配布数
1	北部保健所	50
2	中部保健所	50
3	南部保健所	50
4	宮古保健所	50
5	八重山保健所	50
6	那覇市保健所	50
合計		300

	5 医師会	配布数
1	沖縄県医師会	10
2	北部地区医師会	10
3	中部地区医師会	10
4	浦添市医師会	10
5	那覇市医師会	10
6	南部地区医師会	10
7	宮古地区医師会	10
8	八重地区医師会	10
合計		80

	13 福祉事務所	配布数
1	沖縄県社会福祉協議会	20
2	北部福祉事務所	20
3	中部福祉事務所	20
4	南部福祉事務所	20
5	宮古福祉事務所	20
6	八重山福祉事務所	20
合計		120

療養場所ガイド配布に伴う表敬訪問

目的 : 療養場所ガイド全世帯配布に伴う 東村 表敬訪問
日時 : 令和4年6月7日(火) 16:00~17:00
場所 : 東村役場
内容 : 療養場所ガイド(北部編)を東村全世帯分配布していただけるよう面談を行い、全世帯に配布して頂けることになった。6月末に東村役場の方に療養場所ガイドを900部郵送した

参加者 : 東村 村長 當山全伸様

東村役場 福祉保健課課長 平田尚樹様

琉球大学病院がんセンター センター長 増田昌人

琉球大学病院がんセンター 事務補佐員 比嘉優花



東村役場

面談の様子 右から：平田課長(福祉保健課)、當山村長、増田センター長



第1回 療養場所ガイド編集委員会 議事要旨

日 時：令和4年6月28日 15:00～17:00

場 所：ZoomによるWEB会議

編集委員：10名（敬省略）参加6名

今回は特別にゆうかぎの会 会長 真栄里様にもご参加いただいた。

編集委員5名は都合により、当日のWEB会議には参加できなかったが、事前アンケートにより意見を頂戴して、頂いた意見に対しても意見交換を行った

資料1

編集委員名簿

No.	氏名	所属	職種等
1	松川 千代里	やいまゆんたく会	事務局員
2	上原 昌人	八重山病院 (やいまゆんたく会 会員)	麻酔科医師
3	深澤 麗子	まんま宮古	会長
4	天久 洋子	まんま宮古	会員
5	砂川 洋子	ゆうかぎの会	会員
6	大城 松健	オストミー協会	沖縄支部 副支部長
7	宮城 愛子	沖縄セントラル病院 訪問看護ステーションアレグリア	訪問看護認定看護師
8	安次嶺 宏哉	沖縄協同病院	腫瘍内科医師
9	増田 昌人	がんセンター（琉球大学病院）	がんセンター長
10	比嘉 優花	がんセンター（琉球大学病院）	事務

内 容：議事次第により進行

1. 開会

15:00 より開始

2. センター長の挨拶

琉球大学病院 がんセンター長 増田昌人より編集委員への挨拶及び療養場所ガイドについての抱負を述べた。

3. 編集委員自己紹介（資料1）

資料1「編集委員名簿」順に参加者5名とゆうかぎの会 真栄里様計6名が自己紹介を行った。

4. 療養場所ガイドへの検討及び意見交換（資料2）

事前に療養場所ガイドへの感想と変更等の意見募集アンケートを編集委員の方へお願いし、課題は集約した資料2を事務局にて代弁審議していく形で会議の進行を進めた。

開催の様子 Web 画面



療養場所ガイドに関する良かった点

1	内容が充実し全体的にまとまっていて読みやすい
2	がんの告知を受けた時のショックと動揺し不安にかられた自分を思い出しました。その当時は友人、知人から様々な情報を得ましたが、早く療養場所ガイドにめぐり会えていたら様々な情報が得られて良かったのになあと思います。冊子の内容としましてはとても分かりやすくとてもありがたい療養場所ガイドだと思います。
3	がん種別にくわしく書かれている
4	写真及びイラストが優しい印象を受ける
5	垂見さんの写真(サンゴ、薬草など)が安らぐ
6	P36～P42「医療機関一覧」分かりやすく参考になる
7	文字ポイントがほどよくて読みやすい
8	療養場所ががんの種類別、検査、病期判定、治療、化学療法についてくわしく書かれているのでとても読みやすく分かりやすいと思いました。
9	内容に特に大きな変更点はなく各施設の体制や設備の変更点を主に改定することになると思う

療養場所ガイドに関する変更・要望・提案

療養場所ガイド(多良間村編)を参照の上意見交換を開始

1	情報修正 P1「はじめに」平成 27 年度の報告書になっている
2	情報修正 P 4「本書を使うにあたって」本書の情報 2016 年 3 月時点 →新しく改訂した年度に変更
1.2 年度の修正することとなった	
3	文言追記 P4「本書を使うにあたって」1～2 行目のどこで詳しい検査を受けるのか…を次のページの見出し「がんの診断や治療をどの医療機関で受けたらよいのか」どうぞ本書を利用..につなげての方はどうでしょうか 要検討
4	写真の変更 P7「胃がん」多良間集落の防護林である福木はとても素晴らしいと思います。写真(5.5 cmくらい)またはイラストがあると和むと思います。
5	写真の追加 P9「大腸がん」下部のアダンの実の写真の横に P7 のバナナの写真を移動してはどうか
6	P15「膵臓がん」下部牛のイラストを少し小さくし右側に寄せてはどうか
4.5.6 デザイン制作側と検討の上調整する	
7	情報修正 P20 「乳がん」1.診断 2.治療について宮古病院、徳洲会病院でも可能です。徳洲会病院はコロナウィルス感染予防の影響もあると思いますが乳腺外来は月 1 回の診療となっています。初診を受けたとしても次回の診療までには期間があるため他のがんも含めて徳洲会病院での治療が可能なのかを確認していただきたいです。

8	P21「乳がん」下部のヤドカリのイラストを P40 のヤギのイラストに差替えてはどうか デザイン制作側と検討の上調整する
9	情報追記 P36～P39「医療機関一覧」がん種別の療養場所がまとめられていますが、P6～P28 の各がん種ごとの項の中にそれぞれの表を組み込むのはどうでしょうか 事務局として要検討する
10	情報追記 P20「乳がん」病期(ステージ)だけでなく分類法の「組織型」による分類「サブタイプ」による分類を加えてほしい。 事務局として要検討する
	P32 胃がん 大腸がん 肝細胞がん「CTを使った画像による定期検査」3行目 多良間診療所では困難ですが、宮古病院または徳洲会病院で可能です と記載しているのに対して P34 肺がん 子宮頸がん 子宮体がん「CTを使った画像による定期検査」3行目 多良間診療所と徳洲会病院では困難ですが、宮古病院で可能です 情報が違うのはなぜか 見出しに記載している診療科で当時、専門医の在籍によって対応している・していないとあったためそういう記載になっている 事務局の方で現在は対応できるのか確認する。対応していないのであれば 表現の修正、また注意書きで専門医の在籍等により…と記載したほうが良いのかも検討する
11	文言修正 P33,P35「3.治療が難しい、治療を望まない、治療を行わない場合」 【1～2行目】 痛みや様々な症状を取るため→痛みや苦痛、様々な症状を和らげる又は痛みや様々な症状を和らげる 痛みや様々な症状を取るためと断言しても良いのだろうか？和らげるという表現が適切かなと思う。 事務局として検討し、修正することになった
12	P33,P35「再発後の治療」内容が同じなので工夫しても良いと思う 最初のページからきちんと読んでいけばそのままでも良いかなと思う。 要検討
13	P35 上部の見出しを見た際に一瞬【血液のがん、その他のがん】に関するページかと思いやすい。 レイアウト上の問題。事務局含めデザイン制作側と検討する
14	P36～P39「多良間村におけるがん種別の療養場所」がん種別記載が見えにくいです。真ん中に書かれているのを左側へ移すと目に入りやすいのではないのでしょうか レイアウト上の問題。事務局含めデザイン制作側と検討する
15	情報追記 P40 宮古医療圏の医療機関 国立療養所宮古南静園、宮古島リハビリ温泉病院ではがん治療を行っていないが記載する必要はあるのか 上記は宮古医療圏の一覧として記載しなければならない。情報としてがん治療は行ってないと情報を記載する必要はある。
16	情報追記 P40「宮古医療圏の医療機関」下部に多良間診療所における一部対応可能な検査及び療法を記載してはどうか。案として【超音波(エコー)検査・腫瘍マーカー検査・PSA検査・経口(飲み薬)抗がん剤療法・内分泌(ホルモン)療法】 検査内容等を詳しく箇条書きでも良いので記載してもらった方が分かりやすい
16	情報修正 P42「沖縄県内のがん診療連携拠点病院」八重山病院の住所・代表番号の変更 情報を修正する
17	情報追記 P46「あとがき」島での治療が出来ずに本島への受診の時に行政での補助等について説明もつけてほしい 離島に住む方への支援制度を今回、新しくページを作って記載する

18	<p>多良間診療所での治療方法を確認するのに数回ページをめくって探したので一覧があればよい 事務局として要検討する</p>
19	<p>文字(見出し)が全体的にうすい様に感じる がんサポの色味が全体的に見やすく良かった。 事務局含めデザイン制作側と検討する。</p>
	<p>療養場所ガイドの表紙(多良間村編)の色が暗いかなと思う。クリーム色とかブルーとか明るい色はどうか？ 医療圏別に表紙の色味を合わせている。事務局として検討し、修正することになった。</p>
20	<p>今のままでも読みにくいという事はないのですが、がん種別の療養場所を一覧とすることで全体の状況は把握しやすくなりますが、実際に診断された患者さんにとっては自身が診断された病名のページをメインに読むかと思いい、そこに情報をまとめておくことで読み取りやすくなるのではと考えました。 事務局として要検討する</p>
21	<p>情報追記 患者に対して離島のハンディ分行政の利用方法も診療所にて説明して少しでも負担軽減の方法も出来ればと思いました。 私事ですが5年間も本島へ通院してましたが利用した事がなかったので手続き等も多良間のような小さな離島での診療所ならではの患者に寄り添える相談窓口になってほしいなと思いました。編集の中の一部にでもそのような説明があってもいいかなあと思いました。 離島に住む方への支援制度を今回、新しくページを作って記載する</p>
22	<p>情報追記 がんの診断や治療等の方法を病名ごとに説明していますが、すべての治療等は当地では出来なくて島から出たの診断、治療になることはとてもつらいことです。病名ごとの自覚症状に関する説明あればいいなと思う。 事務局として要検討する</p>
23	<p>私は20年前に乳がんになりました。自分で右乳房にしこりを見つけて宮古徳洲会で検査を受けました。本島で病理検査後、中部徳洲会が宮古病院で手術ができるという事でしたが、宮古病院には乳腺専門の外来治療はなくて、本島手術を受ける為県立中部病院再検査を受けました。離島から来院したという事で最短で検査を終了し、手術日も決めました。現在は病院の地域連携室から連絡したうえで検査、病期判定の可能な病院で受診できると思いますが、できれば最初の診断から治療の受けられる病院を紹介してもらった方が時間的にも負担が少なくなるのではないかと考えます。 地元で治療せず本島に治療しに来る離島の患者さんがとても多い。そのため離島で治療を受ける患者が少なくなり専門分野の先生たちが減っているのが現状。がん種ごとにおいても考え方によってもかなり違う。患者さんによっては最初から最後まで検査・治療を全部できるところを紹介してほしい。社会的な事情で本島になかなか通院・滞在できない患者さんも多いと思う。また国の方針としても地域の医療機関で受けてもらいたいところもある。入口になるガイドという意味で患者さん側の考え方、誤解を招かないような伝え方、療養場所ガイドの目的を説明した総論を記載したほうが良いと思う。総論は増田先生にて作成して頂き安次嶺先生で添削してらうようお願いした。</p>

追加検討内容

1	情報の修正 表紙の次のページ 地図のイラスト 宮古島より多良間島を強調したほうが良いと思う。それと多良間島のイラスト多良間港の記載を前泊港に訂正お願いします。港が二つあり前泊港と普天間港で呼び分けられているようです。
2	写真の追加 多良間村は村の花として多良間花(紅花)があるようです。村の花が療養ガイドのどこかに入っていたら嬉しいと思う。ゆるキャラのたらびん入れたらいいと思います。
3	文言の追加 P 1 20 行目本書がお役に立てれば幸いです…の次に普段からサポートハンドブックを手に取り情報を得て周りの方の力になられてください。という分を入れてほしい
4	情報の修正 P 1・P 4 2019 年がん登録の情報に変更
5	P 16 情報の追記 (1)精密検査 骨シンチグラフィーの次に ペット検査 も追加記載をお願いします。肺がんは転移率が高いのでペット検査があることは知っていた方がよいと思います。
6	P 16 情報の追記 CT 検査やMRI 検査は多良間診療所では困難ですと追記しペット検査や骨シンチ検査が必要な場合は宮古病院や徳洲会病院では出来ないので本島の病院への紹介となりますと追記記載をお願いします。
7	P 16 文言の修正 (2)病気判定 ~を決定することが必要です→きちんと診る事が必要ですかきちんと診ることは重要です。の方が優しいと思います。
8	P 16 情報の追記 気管支鏡検査 柔らかくて細い内視鏡(カメラ)を追記する
9	P 17 情報の追記 骨シンチグラフィーの所にペット検査の説明を入れてほしい
10	P 17 (1)手術 ~で可能ですの次に P42、P44、P45 を参照にしてください を入れる
11	P 17 (2)放射線療法 化学療法を併用されることもあります→ 放射線療法と化学療法を一緒に行うこともあります に変えた方がいいと思います。
12	P19・P4 写真の変更 多良間でよく生産されている黒小豆の花などもきれいです。村の花 多良間花(紅花)も検討
13	P 20 (1)精密検査 ~でも可能です。の次に 乳腺外来または外科外来を受診してください を追加
14	P 20 マンモグラフィ検査のところ乳腺専門のX線検査→ レントゲン検査 に変更 圧迫される痛みがありますが→ 圧迫されるので痛みを感じますが に変えては？ 乳がんの精密検査のところでも骨シンチやペット検査は入れた方がよいでしょうか？
15	P40 宮古医療圏の医療機関 宮古南静園・リハビリ温泉病院はがんの診療は行っていないと思いますので削除してもいいのでは
16	情報の追記 増田先生がお話していた早期発見のために検診を受ける。異常があったら早めに診療所に相談受診する。治療場所 治療が終了した後の経過観察を本島の病院と診療所でタイアップできるなどを図式として療養場所ガイドのどこかにあればと思いました。
17	増田先生の「何もしてあげられなかったとさいなまされているのを少しでも緩和してあげたいと思う。サバイバーとして生きていくのはつらい」というお話は胸が苦しくなりました。また安次嶺先生のご意見で「県内でできる診療、手術、療法などのグルーピング記載」提案は本編を手取る当事者にとり、とても参考になるのではないかと思います。

<p>情報追記 P 6 新たな参考項目として口腔、咽頭、鼻腔、唾液腺については病状の知識がないので基礎的なのが分かると助かります。宮古病院で診断や手術はされているとデータがありますので参考資料があればと思います。</p>
<p>レイアウトの修正 がん種ごとの診断の記載を胃がん、大腸がん、肝細胞がん、胆のうがん、肺がん、皮膚のがん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、血液のがんの順番にしてみました。</p> <p>その後に「P 30 がん療養に関する相談窓口」→「P 31 どの医療機関でがんの治療や相談をすればよいのか」→「宮古医療圏の医療機関一覧」→「拠点病院・支援病院の説明文章」→「拠点病院・支援病院一覧」→「医療圏から一地図」→「専門的がん診療機関一覧」→「放射線ができる病院一覧」→新しく記載として「市町村別渡航費等助成一覧」→「あとがき」というレイアウトが良いと思う。</p>
<p>情報の追記 P 31～35 「どの医療機関でがんの治療や相談をすればよいのか」のページに多良間村におけるがん種別の療養場所を入り組んでも良いかと思う。</p>
<p>情報追記 P 41 1.がん診療連携拠点病院(3)地域がん診療病院の説明を新しく番号をつけて記載したら宮古病院、八重山病院のスタンスがより分かりやすくなるのではないかと思います。</p>
<p>検討して頂きたい新しい項目として「うちな～がんネットがんじゅう」に記載しています「離島・へき地における疾患別対応状況」の一覧を記載しても良いかと思う。</p>
<p>確認していただきたい点として、P 18 皮膚のがん 宮古病院で手術は可能と記載がありますが「うちな～がんネットがんじゅう」に記載しています「離島・へき地における疾患別対応状況」の一覧では宮古病院での手術は△と記載されています。どちらが正しいでしょうか。</p> <p>同様に P 22 子宮頸がんでも異なった情報が記載されていますので確認をお願いします。</p>

その他の検討内容

今回薬物療法が複雑になったためガイドにどこまで書き入れるか検討する

新しく作成するページがあるがコストの問題上ページ数を増やすのは厳しい。そのため削除しなければならない内容や写真等が出てくると思う。その課題についてはもう少し編集を進めてから編集委員皆様に検討してもらうようお願いした。

がんサポの参照ページを入れた方が良いかと思うが療養ガイドは毎年更新するわけではないため、後々編集委員の皆様に検討してもらうようお願いした。

6. 制作スケジュール確認(資料4)

事務局で病用場所ガイドに関連する診療所、病院に対して一つ一つ情報を確認する。メイン病院のほかにも多く病院はあるがほとんどがん検査・治療をしていない。その情報をどうするのかは事務局で検討する。診療所に対してはアンケート調査を送って、出来る・出来ないことを確認する。(ただし名護市内、宮古島市内、石垣市内には大きな病院があるため3市にはアンケート調査は行わない)

離島と北部地域の診療所のデータは全て確認していきたいと思う。

文章として地域別にかん種の説明には大きな違いあまりない。増田先生にページ 1 枚分の本文を記入していただき、医療的な部分にかんしては安次嶺先生や上原先生に、表現的な部分は患者会の皆さんに添削してもらうことになった。

名護市、宮古島市、石垣市を除くその他の地域には全戸配布する予定。病院・診療所の窓口、役場、公民館、図書館、その他にも簡易郵便局にも配布予定。予算に限りがあれば 3 市にも配布していきたいが現状厳しい。(町、村には全戸配布するのががんサポとの違い)

9 月 30 日までの発行を目標にと増田先生よりお話があった。

7. 閉会

本日の協議内容は議事要旨にて各位に送付の旨を伝え、次回は必要に応じて開催とする。
以上により「第 1 回療養場所ガイド編集委員会」を閉会した。

琉球大学病院 がんセンター
令和4年度 がん患者支援事業
「離島がんセミナーin 宮古島」
報告書

2022年9月22日

離島がんセミナーin 宮古島 概要

宮古島住民対象に県主催の離島がんセミナーを実施した。センター長増田から、宮古島市全体における医療の在り方や課題点などについても普及し、がん情報提供講演会を実施した。

■離島がんセミナーin 宮古島

日時：令和4年9月18日(日) 12:30～15:30

場所：宮古島市未来創造センター

参加人数23名（受講者15名、スタッフ8名）

内容（1）講演「もしも宮古島でがんになったらがんになってもあわてない情報の探し方」

琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人

（2）講演「相談支援センター利用のすすめ」

沖縄県立宮古病院 がん相談視線センター 地域連携室 看護師長 金城 美奈子様

（3）質疑応答・個別相談会

琉球大学病院 地域統括相談支援センター 相談員 上地 久美子様

※セミナー会場の感染対策として、スタッフ及び参加者は受付の際にマスク着用の確認と検温を行い、名簿にて、住所・氏名・連絡先と検温・体調確認・渡航歴の記入を徹底した。

記入用ボールペンは参加者全員に配布し、会場内は換気のため終始空調を使用し、窓や扉を解放した。

2022 離島がんセミナー in 宮古島

2022年9月18日(日) 12:30~15:30
宮古島市未来創造センター スタジオ1
〒906-0007 沖縄県宮古島市平良東仲宗根807

2年ぶり開催

入場無料・予約不要(どなたでも参加できます)

講演会 | 12:30開場

- 1 「もしも宮古島でがんになったら～がんになってもあわてない、情報の探し方～」**
講演者 / 琉球大学病院 がんセンター長 増田昌人
時間 / 13:00~13:45
- 2 「相談支援センター利用のすすめ」**
講演者 / 沖縄県立宮古病院 相談支援センター 地域連携室 看護師 金城美奈子
時間 / 14:00~14:40
- 3 「がん個別相談会」**
時間 / 14:50~15:30
内容 / 看護師、がん経験者(ピアサポーター)が、治療等に関する疑問や不安にお答えします。

まずは「知る」ことから始めてみよう!
みんなで支える「健康・長寿」

健康づくりミニイベント | 同日開催 10:00~16:00

体験無料(お気兼ねにお立ち寄りください)

宮古島市未来創造センター 研修室1~3
〒906-0007 沖縄県宮古島市平良東仲宗根807

チェックしたい食事をトレーに選ぶだけで、瞬時に栄養価計算
食育SATシステム
公益社団法人 沖縄県栄養士会

沖縄県地域総括相談支援センター
がんピアサポート展
10:00 ~16:00

主催: 沖縄県
(沖縄県がん患者等支援事業 / 令和4年度ヘルスプロモーション推進事業)
共催: 琉球大学病院がんセンター 協力: 公益社団法人 沖縄県栄養士会
お問い合わせ> 沖縄県保健医療部 健康長寿課: 098-866-2209 取り戻そう! 健康長寿おきなわ! 健康おきなわ21 後索

■ 広報手段: 丸正印刷協力のもと、宮古島保健所、宮古市未来創造センター

宮古市役所健康増進課 健康づくり係、沖縄県立宮古病院 ヘチラシ配布

講演内容(スライド資料)

増田先生スライド表紙など

金城様スライド表紙など

2022離島がんセミナーin宮古島

もしも宮古島でがんになったら

～がんになってもあわてない、情報の探し方～

琉球大学病院がんセンター
増田昌人

がん相談支援センター 利用のすすめ

沖縄県立宮古病院
地域連携室 がん相談支援センター 金城美奈子

推奨できる書籍①: 患者必携三部作

- ・「(第1次)がん対策推進基本計画」(2007年策定)にて、その作成等が定められたのがきっかけで作成された
- ・がん患者にとって必要ながんに関する情報を取りまとめた冊子で、がんと診断されたすべの方々に、患者必携に含まれる情報を届けることで、患者がより良い療養生活を送ることを目指している
- ・「おきなわがんサポートハンドブック」は、2011年から毎年25,000部発行して、がん患者さんとその家族に無料配布中(累計26.5万部配布)。現在は、第12版(2022年版)



宮古病院 がん相談支援センター

当センターでは、患者さまやご家族が‘がん’とうまくつきあいながら安心して生活できるようお手伝いさせていただきます。

1人で、あるいはご家族だけでは悩まずに、まずはお気軽にご相談ください。

*相談は無料です。

*相談時間は30～60分です。

*相談内容につきましては、秘密を厳守いたします。



最後に

1. 万が一の時に備えて、
 - (1)再発した場合のこと
 - (2)治療が難しくなった場合のこと
 - (3)最期を迎える場所(自宅 or 病院)を、家族や大切な人と相談しておく
2. 相談して決めたことを、紙に書いて、日付と署名と印鑑を押しておく

*がんになってもならなくても、普段から自分自身がどのような医療を望むのか、人生の最期はどのように迎えたいのかを考えておくこと、その考えを家族や大切な人に伝えたり、相談したり、理解を得ておくこと、その結果を文書に残しておくことは、とても大切なことです
(≒アドバンス・ケア・プランニング)

✿ 自分らしさを大切に

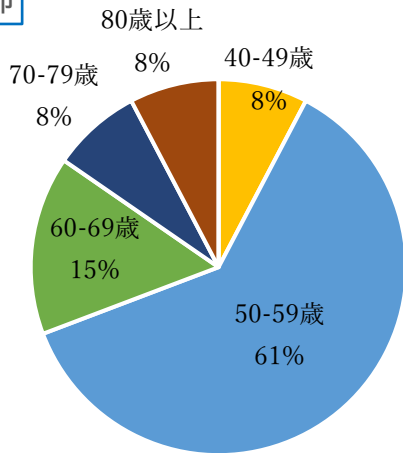
- ・病気は自分らしい選択を難しくする
- ・悩みごとは様々
- ・結論をだすことを急がない
- ・自身にとっての幸せや大切なこと

人それぞれ違う 今を頑張る意味は何だろう

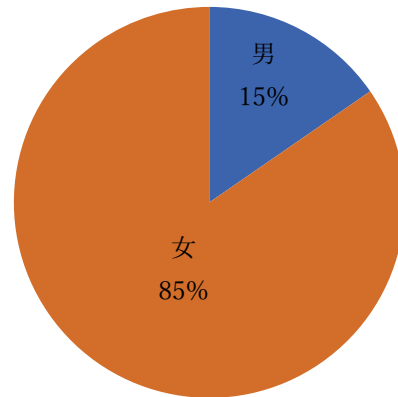
アンケート結果

■受講者15名 アンケート回収13名 アンケート回答率80%

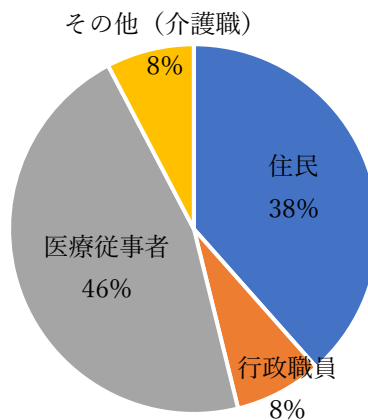
1-a 年齢



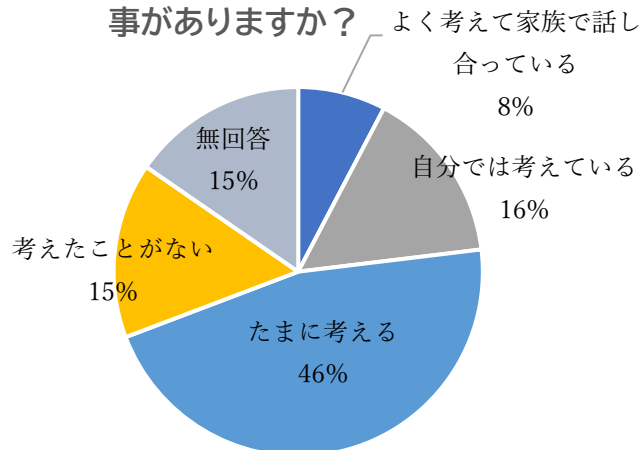
1-b 性別



2. 立場



3. もしもがんになった場合のことを考えた 事がありますか？

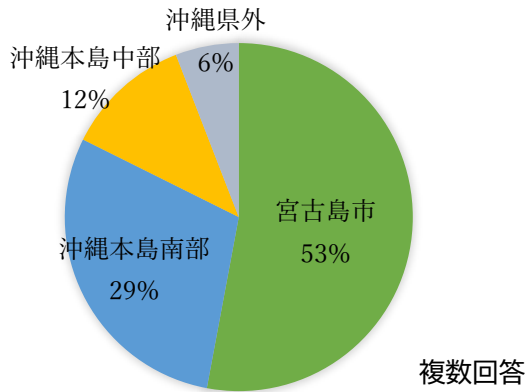


3. その他の理由を教えてください。

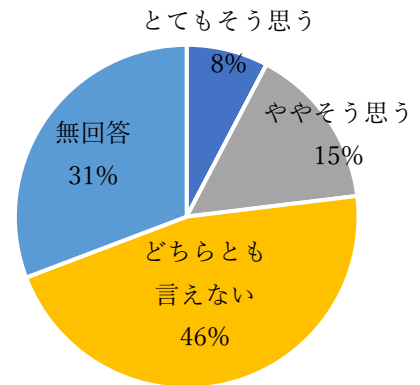
2年前に家族ががんになり自宅で看取りを経験してから。

前立腺がんらしいです。

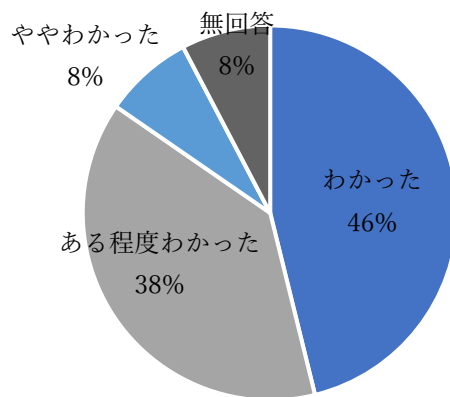
4.もしあなたががんになったら、
どこで治療したいと思いますか



5.もしがんになったとき、宮古島で治
療することに不安はありますか



6.この説明会で、病院が携わることがで
きるがん医療の範囲を理解できましたか



7.がんセミナーの感想や、要望など何かあれば自由に記載してください。

年に一度やってほしいです。

このような機会があると話し等お聞かせいただけると幸いです。担当医と相談しながら頑張ります。

いろいろな情報がもらえて良かったです。

先生の分かりやすい講話で参加して良かったです。理解しやすく納得することが多く、今後のがん治療に役立つと思います。

がん治療が宮古でも出来るのであれば宮古で受けたいと思う。今は本島に通っています。現在年2回～4回

がん検診の重要性を再認識しました。友達の家族ががん治療中で、力になりたくてセミナーに参加しました。色々分かったこともあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

改めてがんについて考えさせてくださるセミナーでした。ありがとうございます。これまでは人事でしたが、自分がかんになったらと考えて行動する、生活習慣を改めることなど、自分自身に出来る事を頑張りたいと思います。

増田先生のお話は働きざかり世代の多くに聴いてもらいたいと思いました。金城看護師のお話はがん患者・家族・支援者が相談支援センターの役割をもっと知ってもらうことが大切と思いました。地域統括相談支援センター上地さんの温かい語りかけ寄り添いが印象に残りました。とても貴重な講話でした。ありがとうございます。要望として治療と仕事の両立についての内容もあって良かったです。

セミナーの様子

■宮古島市未来創造センター



■講演会の様子



左から地域統括相談支援センター相談員 上地様

がんセンター長 増田

宮古病院看護師 金城様



おきなわがんサポートハンドブック・サイト版アクセス数

※<https://okinawagansapo.jp/plesk-stat/webstat-ssl/>より抽出

月 別	アクセス数 (Number of visits)	備 考
2021/2	3,474	アクセス数カウント開始
2021/3	3,624	
2021/4	3,760	
2021/5	3,401	
2021/6	6,039	
2021/7	6,316	
2021/8	9,468	
2021/9	9,316	
2021/10	8,895	
2021/11	8,622	
2021/12	8,599	
2022/1	7,955	
2022/2	7,054	
2022/3	11,159	
2022/4	16,752	
2022/5	14,069	
2022/6	13,694	
2022/7	11,221	
2022/8	15,636	
2022/9	10,540	R4.9.26時点

